

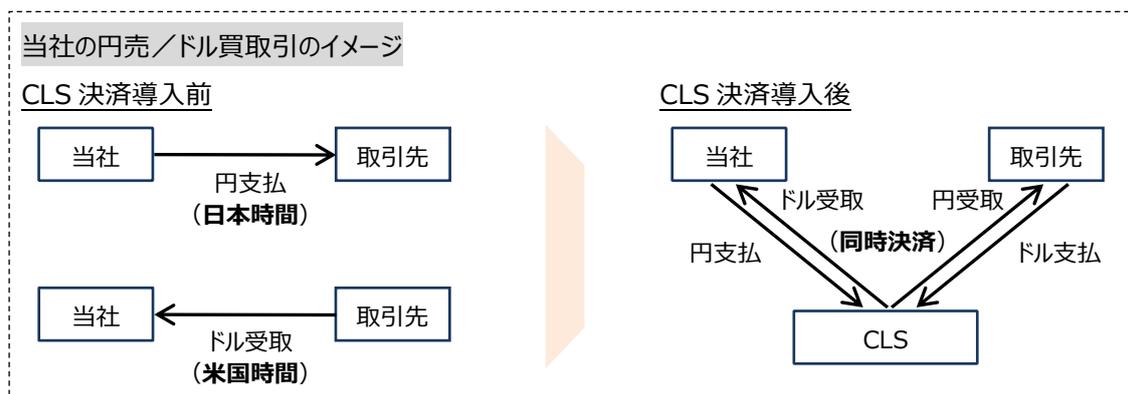
2017年8月28日
日本生命保険相互会社

外国為替取引における CLS 決済の導入について

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信、以下「当社」）は、この度、国内の保険会社として初めて、外国為替（以下「為替」）取引において CLS（※）を通じた決済（以下「CLS 決済」）を開始しました。

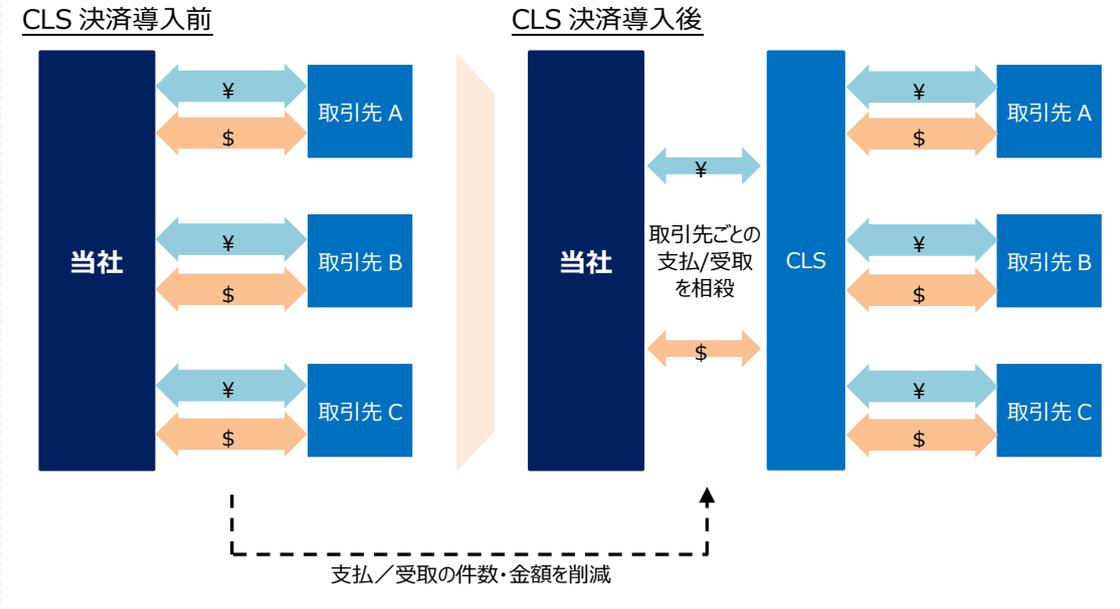
（※）Continuous Linked Settlement の略称。市場安定化を目的に設立された為替決済のための金融市場インフラであり、世界の主要行を中心に 79 社が出資（2017 年 8 月現在）。

CLS 決済は、取引する 2 通貨を同時決済することができ、国際的に為替取引の主流となっています。当社は決済メンバー（CLS に口座を持ち、他の決済メンバーと CLS 決済を行うメンバー）の口座を通じて CLS 決済を行います。



CLS 決済により、これまで取引先ごとに行っていた為替決済について、全ての支払／受取取引の差額決済とすることができ、外貨建投融资に係る資金繰りの効率化が実現できます。また、CLS 決済の導入と併せて、システムを活用して為替取引の事務処理を自動化し、正確性を維持しつつ、より迅速かつ効率的な事務プロセスの構築も図ります。

外貨建投融資の資金繰り効率化イメージ



当社は、低金利環境の中、グローバルな分散投資を通じた長期安定的な利回り確保を目指して、外貨建投融資を拡大しており、その保有残高は約 17.8 兆円（2017 年 6 月末時点）となっています。引続き、外貨建投融資拡大を支える外貨資金繰りの効率化や、正確で迅速かつ効率的な事務プロセスの構築等を通じて、長期安定的なご契約者利益の一層の拡大に努めてまいります。

以上